

性暴力対策アドバイザー派遣事業
受講の手引き
(高等学校)

目次

1	性暴力対策アドバイザー派遣事業について	……	1
2	実施内容	……	3
3	アンケートの実施について	……	5
4	事前準備	……	6
5	講義実施	……	10
6	講義実施後	……	10
7	問合せ先	……	15

別添 高等学校テキスト

1 性暴力対策アドバイザー派遣事業について

性暴力対策アドバイザー派遣事業は「福岡県における性暴力を根絶し、性被害から県民等を守るための条例」第11条に基づき実施されている。

(1) 福岡県性暴力根絶条例

「福岡県における性暴力を根絶し、性被害から県民等を守るための条例（平成31年福岡県条例第19号）」いわゆる「性暴力根絶条例」は平成31年2月に制定。（福岡県は、性犯罪被害発生率（人口10万人当たりの認知件数）が、平成30年度まで、9年連続ワースト2位となるなど、性犯罪の根絶に向けた取組が喫緊の課題となっていた。）

【「福岡県性暴力根絶条例」（抜粋）】

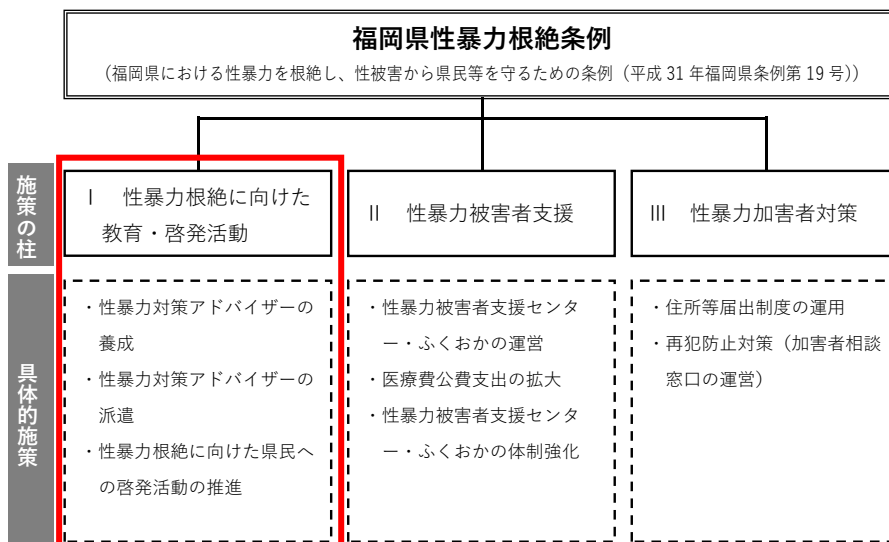
○第11条第1項

性暴力を根絶し、被害者も加害者も出さない社会、性暴力を許さず、被害者には寄り添う心を共有する社会をつくるため、学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校のうち公立の学校の長は、その児童又は生徒に対し、発達の段階に応じた性暴力の根絶及び性暴力の被害者の支援に関する総合的な教育を行うよう努めるものとする。

○第11条第2項

前項の教育は、性差別等人権に関する教育、体や性の仕組みに関する教育、性に関する心理学的見地からの教育並びに性暴力及び性被害の実情等に関する教育を含むものとし、それぞれの分野に関し専門的な知識及び経験を有する専門家で県が派遣するものによって行う。

(2) 性暴力根絶条例に基づく具体的施策の体系



(3) 事業計画

全校実施となっている各校種（小学校高学年、中学生、高校生）において在学中に最低1回（中等教育学校は前期課程、後期課程それぞれ1回ずつ）は各児童生徒が受講できるよう、小学校高学年（5・6年生）は2年、中学生以上は3年サイクルでアドバイザーを派遣する。

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度以降
公立	高校生	先行実施・検証→		全校実施→		
	中学生	先行実施・検証→		全校実施→		
	小学校高学年	先行実施・検証→		全校実施→		
	小学校低、中学年	-			先行実施・ 検証	希望校実施→
	特別支援学校生	先行実施・検証→				全校実施→
私立学校生		先行実施・検証→		希望校実施→		

(4) 事業の目的

性暴力を根絶し、被害者も加害者も出さない社会、性暴力を許さず、被害者には寄り添う心を共有する社会の実現に寄与すること。

(5) 性暴力対策アドバイザーとは

福岡県臨床心理士会又は性暴力関係機関等から県に推薦された者若しくは県内の学校に勤務するスクールカウンセラーのうち、県が実施する養成講座を修了した者。

アドバイザーの役割は下記①～③のとおり。

【アドバイザーの役割】

- ①配慮校（※）について県及び学校との事前打合せの実施
- ②講義の実施
- ③講義の際に、児童・生徒から性暴力に関する相談があった場合における学校関係者（養護教諭・スクールカウンセラー）への引継ぎ

※配慮校…講義対象の児童生徒の中に性暴力の当事者が含まれる、学級・学校が荒れていて落ち着いて学習する雰囲気など、講義に当たり配慮が必要と認められる事情がある学校

2 実施内容

(1) 講義のねらい

性に関することを含め、自分も他者も尊重するあり方を知り、具体的な場面で、性暴力とならない人との接し方を選択することができる。

また、性暴力についての理解を深めることで、被害に遭った場合でも、暴力の責任は加害者にあり、身を守ったり支援を求めたりしていいと思える。さらに、被害に遭った人にとってさらにつらい状況にならないよう基本的な配慮をしようとする。

(2) 到達目標（高等学校）

性暴力の実態と社会の取り組みを知る。

- ① 性暴力は身近で発生していることを知る。
- ② 被害の影響を知る。
- ③ 二次被害を生まないためのまわりの行いを知る。
- ④ 性暴力についての社会の取り組みとその役割を知る。

(3) 使用テキスト

別添「高等学校テキスト」

(4) 授業の展開例

時間	主な内容	留意点
導入 5分	1. 講師の自己紹介 2. 受講上の注意点	○受講上の注意点としては、受講中に不調を来して退出したい等の場合に学校の教師に申し出て良いこと等を伝える。
展開 35分	1 授業のねらいや全体像を知る 2 講師からの講義	○授業のねらい、授業で取り扱われる内容の全体像を説明する。
まとめ等 10分	1 全体のまとめ 2 質疑応答	○講師から、特にこれだけでも覚えておいてほしいということを改めて強調する。

(5) 教科等における位置づけの例

- ・ 家庭>家庭基礎> A人の一生と家族・家庭及び福祉
 - > (2) 青年期の自立と家庭・家族
- ・ 特別活動>ホームルーム活動
 - > (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 - > イ 男女相互の理解と協力、エ 青年期の悩みや課題とその解決、オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立

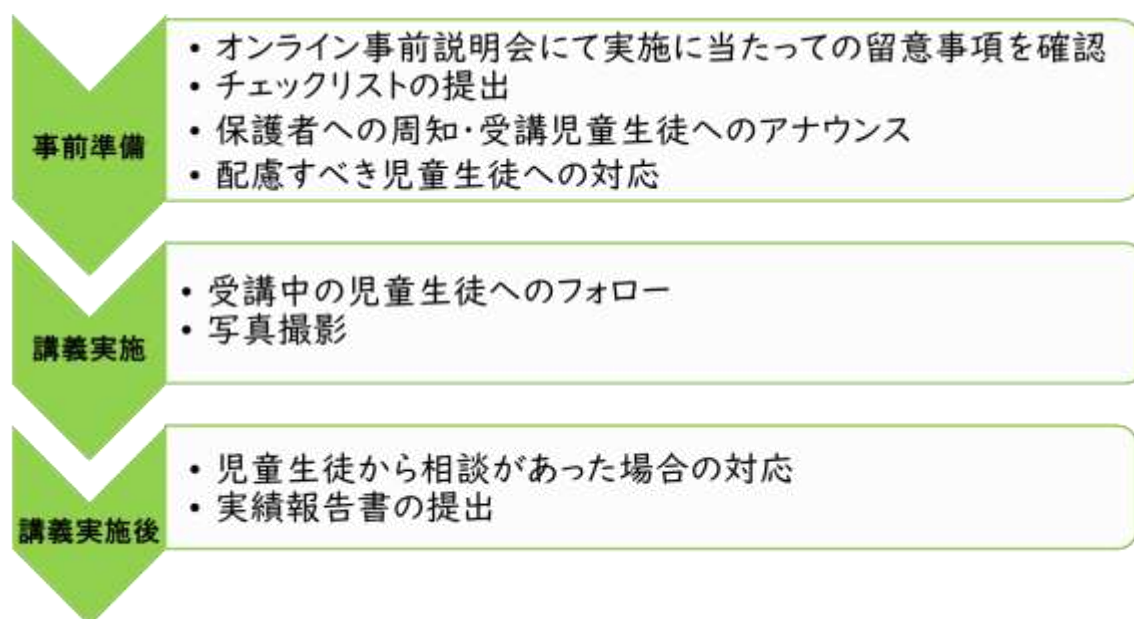
(6) 受講単位

学年単位の受講を基本とするが、学校判断により変更可能。

(7) 受講に当たっての事前調整

生徒からの相談へのフォローアップをスムーズに行うために、可能な限りスクールカウンセラーが授業に同席できるよう調整する。

(8) 講義実施前後に学校が実施すること（詳細は6頁以降を参照）



3 アンケートの実施について

アンケートの実施については、各学校の任意となるが、実施する場合は下記の点に留意して行う。

- (1) アンケートは県の所定の様式を使用し、原則記名で実施する。
匿名で提出されたアンケートから、個人を特定するリスクを避けるため、原則記名とする。
- (2) アンケートの目的について、学習者へ説明をしたうえで配布する。
「このアンケートは、講義の理解度を確認するために行う」等の説明を行う。
- (3) アンケートの管理と対応について、各学校での取扱いを事前に決めておく。
 - ①回収後のアンケートを確認する職員の範囲を事前に決める。
 - ②部外者へ閲覧を許可する場合は、根拠を明らかにする。
 - ③アンケートの保管場所について、十分に配慮する。
本事業やアンケートは、性暴力の被害や加害の開示を促すものではないが、アンケートを通して、学習者から何らかの被害や加害の開示がある可能性があることを考慮しておく必要がある。
- (4) 生活安全課によるアンケートの協力依頼
また、事業の効果検証のため、県（生活安全課）において、学校を抽出し、児童生徒及び教員へのアンケートを実施。アンケートを依頼する学校については、別途依頼文を発出。

4 事前準備

(1) オンライン説明会への参加・チェックリストの提出

生活安全課が実施するオンライン説明会において、実施に当たっての留意事項を確認する。説明会後は「チェックリスト」を生活安全課に提出し、必要に応じて派遣アドバイザー・学校・生活安全課の三者打合せを実施する。

(2) 保護者への周知・受講児童生徒へのアナウンス

実施通知等で、保護者に対して講義を実施する趣旨や講義の概要等の説明を行い、児童生徒に配慮が必要な場合は学校に相談してもらうよう周知する（7頁：保護者向け通知の例）。

担任等の学級指導等において児童生徒への趣旨説明を行い、受講に際し心配事がある等の場合は教師に相談するよう伝える（8頁：受講児童生徒への事前アナウンスの例）。

(3) 配慮すべき生徒への対応

事前に配慮が必要と把握している児童生徒、保護者や本人から相談のあった児童生徒に対応する（9頁：個別対応が必要な児童生徒への対応について（授業前））。

受講後に生徒の相談があった場合のフォローアップについて、校内の関係者（担任、養護教諭、スクールカウンセラー、管理職等）で情報共有を行っておく。

【保護者向け通知の例】

令和 年 月 日

保護者各位

〇〇〇〇〇学校長

性の健康と権利に関する教育の実施について

日頃より、本校の教育活動に御理解、御協力いただき感謝申し上げます。

さて、本校においては、専門家をお招きし、性の健康と権利に関する講義を実施することとしております。

この教育は、自分も相手も大切にできるコミュニケーション力を身につけ、社会の中で自他の安全を守って生活するための基本的なスキルを身につけることを目的としています。その中で性被害のことや、もし被害にあった場合に助けを求めることの大切さや方法も学びます。本校としては、子ども達が生きる力を育むうえでの大切な教育内容と考えております。

つきましては、下記のとおり全校生徒（〇学年の全児童生徒）に対し授業を実施しますので、保護者の皆様にお知らせします。

記

1 日時

令和 年 月 日（曜日） 時間目

2 講師

福岡県性暴力対策アドバイザー 〇〇 〇〇

3 講義内容

（高校生）
（1） 「境界線」の話
（2） 性暴力とは
（3） 性暴力被害後の影響
（4） 「二次被害」について
（5） もしあなたが性暴力にあったら
（6） もし友達が性暴力にあったら

4 その他

受講にあたり、児童生徒に配慮が必要であるなどの事情がある場合は〇〇（担任等）にご連絡ください。

〇年〇組（担任） 〇〇 〇〇
〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇

【受講児童生徒への事前アナウンスの例】

※保護者への通知文を配付するタイミングでクラス全体へアナウンスすることを想定している。

- ・今度、外部講師を招いて、性に関することや人とのコミュニケーションについての授業をして頂くことになっている。
- ・自分も相手も大切にするというのとはどういうことか、自分と相手の安全、安心の守り方、性暴力のこと、もし被害にあってしまったらどうしたらいいか、といったことを教えてもらう。
- ・○月×日△時間目に、全校児童生徒（○学年全児童生徒）で授業を受ける。
- ・この授業を受けることは、保護者にもおたよりで伝える。
- ・心配なこと、気になることがあったら、事前に先生に伝えてほしい。

【個別対応が必要な児童生徒への対応について（授業前）】

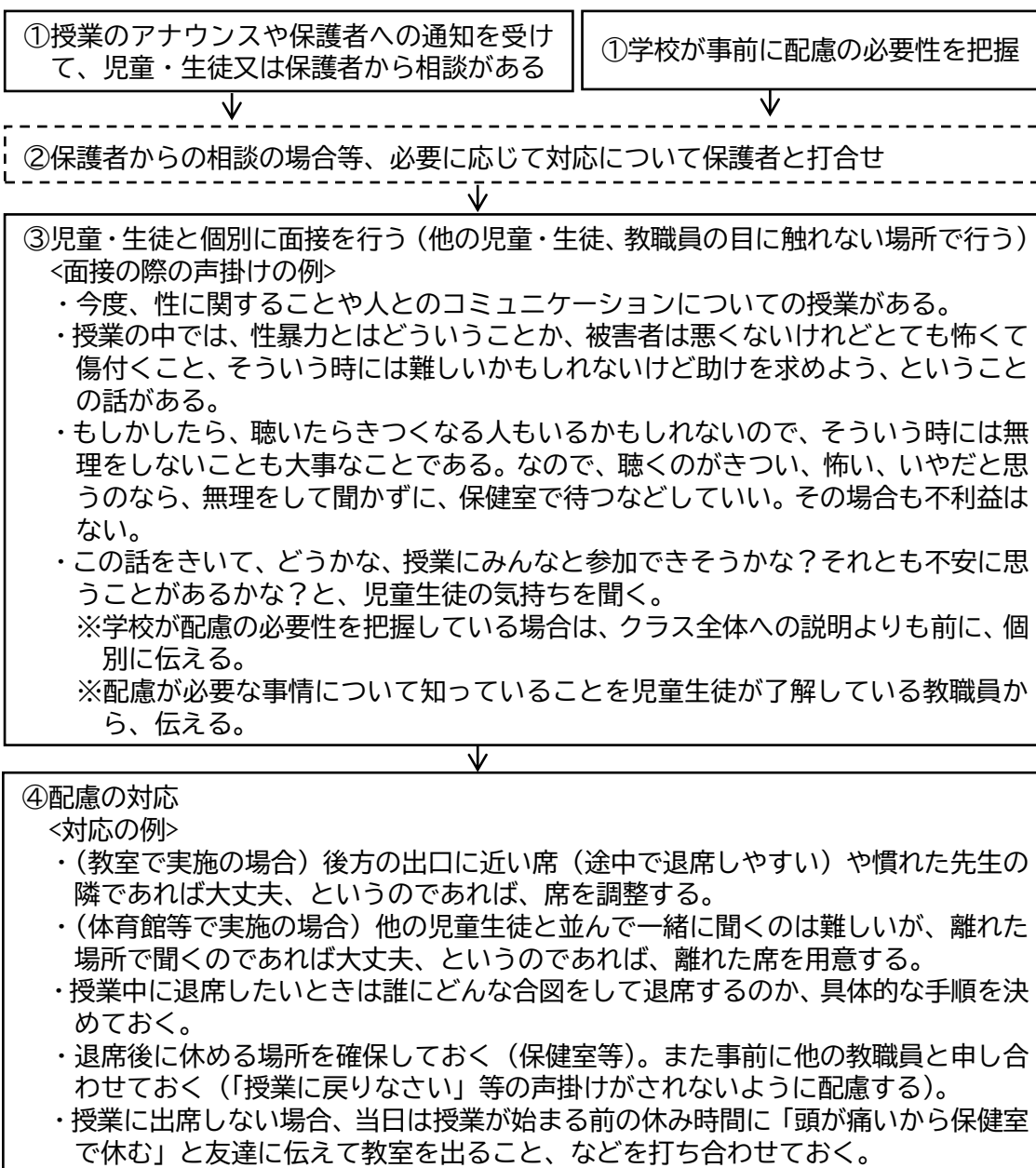
○ 個別に配慮を行う目的

- ・性暴力の話題で混乱すると予想されるような児童生徒が、無理のない範囲で、安心して授業に参加できるようサポートする。（授業を受けなければならないわけではない。）
- ・授業や性暴力に関する話題を扱うことに対する不安な気持ちを話せるようであれば、どのように不安なのかを聞き、どう対処したらよいか一緒に考えることで、学校生活への安心感を高める。

○ 配慮が必要な児童生徒の例

- ・性被害（家庭内での性的虐待を含む）を受けたことのある児童生徒
- ・家庭内に性被害を受けたことのある人（きょうだい等）がいる児童生徒 等

○ 配慮の方法



5 講義実施

(1) 講義前チェックリストの確認

講義までに、アドバイザーが学校に対し「講義直前チェックリスト」を基に、実施に係る最終確認を行うので、記載の項目について確認しておく（11頁：講義直前チェックリスト）。

(2) 受講中の児童生徒のフォロー

- ・事前に被害状況等を把握していない場合でも、講義中に、児童生徒がフラッシュバックを起こして体調不良となったり、泣き出したりする可能性があることを想定しておく。また、授業を聞いている中で、自分が被害を受けていたことに初めて気づくこともある。
- ・授業中は、担任等が児童生徒の様子を見守り、普段と様子の異なる児童生徒がいる場合は対応できるようにしておく。授業を行うアドバイザーと、授業前に対応について話しておくことが望ましい。
- ・予め、退席後に休める場所を確保しておく等の準備をしておく。

(3) 写真撮影

実施報告書への添付のため、授業の様子について写真撮影を行う（児童生徒の顔を写す必要はない）

6 講義実施後

(1) 児童生徒から相談があった場合の対応

講義後に児童生徒から相談があった場合に対応する（13頁：児童生徒から相談があった場合の対応について（授業後））。

(2) 実施報告書の提出

「福岡県性暴力対策アドバイザー派遣実施報告書」を県生活安全課にメール又は郵送で提出する（14頁：福岡県性暴力対策アドバイザー派遣実施報告書）

【講義直前チェックリスト】

【確認事項（確認先：担任以外の担当者でも可）】 ※全校種共通

	確認項目	メモ欄
<input type="checkbox"/>	保護者通知や児童生徒への事前アナウンス後、問い合わせなどの反応があったか	
<input type="checkbox"/>	チェックリスト提出（事前打合せ）後の変更点はあるか	
<input type="checkbox"/>	実施場所について（例：スクリーンの位置、マイクの有無等） ※移動教室の場合は実際に現地を確認することが望ましい	
<input type="checkbox"/>	機器周辺の動作確認 例：PCの動作はスムーズか。音響（マイクテスト）及び照明の調節 小中学校の場合：動画は流れるか、音量は調整できているか	
<input type="checkbox"/>	講義に参加する教員について（誰が参加するのか、お名前）	
<input type="checkbox"/>	講義に参加する先生は何名かとその配置について ※講義中の児童生徒の様子を見守る担当者を配置しているか	
<input type="checkbox"/>	講義中、児童生徒に反応（席を離れる、頭痛や腹痛の訴え、泣く等）がみられた場合のフォロー体制について ・保健室など休む場所の確保状況 ・対応する職員は誰か（養護教諭/SCなど）	
<input type="checkbox"/>	不登校や別室登校の児童生徒への対応について オンライン参加がある場合、 ・一人で参加している状況はないか ・事前に当該児童生徒と受講に係る確認を行ったか	

【確認事項（確認先：担任又は担当者）】※全校種共通

	確認項目	メモ欄
<input type="checkbox"/>	<p>講義時間の進行（展開）について</p> <p>例：号令後すぐにアドバイザーの進行となるのか、先生から紹介があるか</p> <p>開始時や終了後に生徒からの挨拶などが予定されているか</p> <p>アンケートがある場合、授業内で実施するか</p>	

【確認事項（確認先：担任）】※主に小学校高学年及び中学校を想定

	確認項目	メモ欄
<input type="checkbox"/>	<p>ワークの準備状況について</p> <p>※普段の生活の中にあるピンチの例か（児童生徒への注意や教員自身の被害開示ではないか）</p>	
<input type="checkbox"/>	ワークの際、子どもたちから発表が出なかった場合の対応について	
<input type="checkbox"/>	授業中に気になる行動がある児童生徒に対する学校の対応方法について	
<input type="checkbox"/>	<p>最近のクラスの状況について</p> <p>※性暴力に限らず、SNSを含めた友人トラブルの有無</p>	
<input type="checkbox"/>	座席表やタイマーの有無	

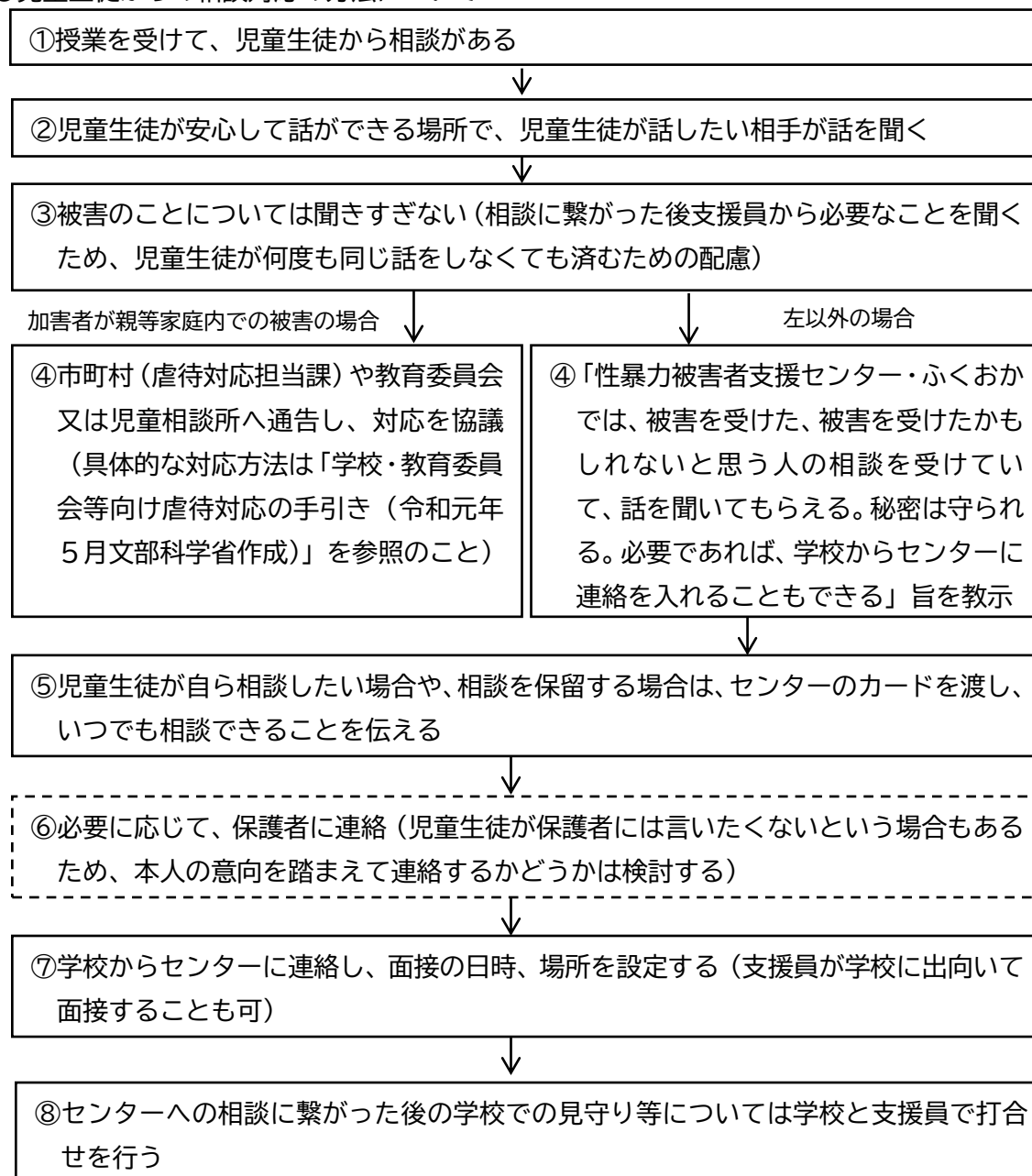
【児童生徒から相談があった場合の対応について（授業後）】

○性暴力被害者支援センター・ふくおかについて

全都道府県に設置されている、性暴力被害者の相談から医療的、法的支援までをワンストップで支援する相談機関。

- ・設置主体：県（生活安全課）
- ・委託先：公益社団法人福岡犯罪被害者支援センター
- ・設置場所：福岡市内（住所は非公表）
- ・電話番号：092-409-8100（#8891）
- ・開設時間：24時間365日（年中無休）
- ・相談員の職種：心理職、看護師、社会福祉士等の有資格者
- ・支援内容：電話相談、面接相談、医療機関付添い、医療費（身体、精神）公費支出、カウンセリング、証拠資料採取、無料弁護士相談、緊急宿泊等

○児童生徒からの相談対応の方法について



【福岡県性暴力対策アドバイザー派遣実施報告書】

様式第4号

年 月 日

福岡県知事殿
 (人づくり・県民生活部生活安全課)

団体等の名称
 代表者氏名

福岡県性暴力対策アドバイザー派遣実施報告書

下記のとおりアドバイザーの派遣を受けましたので報告します。

派遣期日	年 月 日 曜日		
派遣時間	: ~ :		
打合せ日時	<input type="checkbox"/> 同日 (時頃) <input type="checkbox"/> 月 日 (時頃)		
派遣場所の 住所・名称	〒 電話: ()		
対象者		参加人員	人
アドバイザー名			
開催概要・ 感想等			

添付資料:実施状況の写真2,3枚を添付してください。

7 問合せ・各種資料提出先

事業担当課 : 福岡県 人づくり・県民生活部 生活安全課
性暴力・犯罪被害対策係

住所 : 〒812-0053
福岡市東区箱崎1丁目18番1号 粕屋総合庁舎

電話番号 : 092-289-9395

FAX : 092-289-9397

メールアドレス : sa-adviser@pref.fukuoka.lg.jp

性暴力の実態と社会の取り組み

おはなしすること

- 「境界線」の話
- 性暴力とは
- 被害後の影響
- 「二次被害」について
- もしあなたが性暴力にあったら
- もし友達が性暴力にあったら

あなたのからだはあなたのもの、
あなたのこころもあなたのもの。

自分がどうしたいかは、自分で決めていいんです。

「境界線」

自分のまわりには、勝手に人が入ってはいけない
個人的な空間がある。
自分と相手の人との、目には見えない「境界線」。
見えない透明バリア。
この透明バリアで、安心や安全が守られている。

境界線は
自分を守る・
相手を守る透明バリア。



いろいろな「境界線」

- 「からだの境界線」
 - 誰と、どれくらい距離をとるかは、あなたが決められる。
- 「きもちや考え方の境界線」
 - どんな気持ちも持っていていい。
何を大切にするかは、あなたが決められる。
- 「持ち物の境界線」
 - 持ち物やお金にも境界線がある。
- 「時間・空間の境界線」
 - 時間をどう使うか、どう過ごすかは、あなたが決められる。
- 「性の境界線」
 - 自分の性は自分だけのもの。

自分の「境界線」を守るために

- 「イヤ」だと相手に伝える。
- その場を離れる
- 信頼できる大人に、話してみる

相手の「境界線」を守るために

- 相手も「イヤ」と言っている。
- 「イヤ」って言われると・・・ツライ。でも、あなた自身のことが「イヤ」ではない。
- 相手の「イヤ」を受け入れることは、相手を大事にするということ。

「性の境界線」をこえるときの確認

キスやハグなどをするときに、お互いの気持ちを確認すること

「性的同意」

- ☑ 言葉でお互いの気持ちを確認め合うこと。
- ☑ パートナー同士であったとしても、性的行為をすることは義務ではない。
- ☑ 性的行為をする／しないを決めるのは自分自身。



性暴力とは

あなたが望まない・同意のない
性的な行為や発言はすべて性暴力。



プライベートゾーンとは？

体操服でかくれるところと口。



いろいろな性暴力 ～カラダに直接される性暴力～

- 痴漢
- レイプ
- デートDV
- 家庭内での性的虐待 など

※デートDVは交際相手からの暴力のこと

いろいろな性暴力 ～カラダに直接されない性暴力～

- 体へのからかい、性的な中傷
- 着替えやトイレ、入浴をのぞく
- 下着を盗む
- 衣服に精液をかける
- 性的な画像や性行為をみせる
- 盗撮
- 裸の写真などをSNS等で送りつける、送らせる、公開する
- ストーーカー行為 など

被害は身近で発生している



※被害者Aさん、年齢は20代前半、女性

被害は身近で発生している

加害者との関係 内閣府調査(令和2年20歳以上の男女)

- 交際相手・元交際相手
- 職場・アルバイトの関係者(上司/同僚/部下/取引先)
- 学校・大学の関係者(教職員、先輩、同級生、クラブ指導者など)
- 隣接・アルバイト先の客
- 配偶者・元配偶者・家族
- SNSなどインターネット上で知りあった人

- まったく知らない人 12.0%

注

知っている人・身近な人が8割

事例

知っている人からの被害

アルバイト先での
出来事

※被害者Aさんは、女性

普段からAさんは
バイト先で遊んだことがあると、
先輩に積極的に相談していました。
優しく教えてくれる先輩でした。

でも、
先輩から軽く身体を触られることがあったので、
Aさんはふたりきりになるのを
避けるようになっていました。



それでも先輩が「仕事を教える」などと
理由をつけてきたり、
Aさんに対して不機嫌な態度をとるため、
Aさんは避けづらくなり、
被害がエスカレートしていきました。



『バイトの人に知られたくない』
『みんなに迷惑掛けたらいけない』
被害については、
誰にも打ち明けられませんでした。

『イヤって言わなかった
自分が悪かったのかな』



朝起きると吐き気やめまいがしました。
先輩に似た人を見かけると、
心臓がドキドキして身体が震えたりするよう
になりました。

Aさんは外に出るのが
怖くなりました。



『最近元気ないね。何かあった?』

友達に声をかけられ、
ひとりで抱えることに限界を感じていたAさんは、
初めて被害のことを友達に打ち明けました。

友達のアドバイスで、
店長に先輩のことを
相談することになりました。



店長は
「自分から誘ったんじゃないの?」
「触られたくらいで、おおげさじゃない?」
と、取り合ってくれませんでした。

『やっぱり自分が悪かったんだ』
と思いました。



『もう誰も信じられない』
『なんで私はっかリイヤな思いしなないとイヤなの!』
朝まで眠れない日が続いて、
Aさんはバイトを休むようになりました。

『最近家でグラグラして
はっかリじゃない!』
事情を知らない家族と
ケンカが多くなりました。



『もうどうしていいかわからない』

友達が調べてくれた相談先で、
Aさんはカウンセリングを受けることになりました。

カウンセラーに気持ちを聴いて
もらう中で、少しずつAさんに
ほっとする感覚が戻ってきました。



知らない人からの被害

電車の中での 出来事

※被害者Aさんは、男性

高校生のAさんは、
電車で学校に通っています。

ある日の塾の帰りのことです。

いつもより混み合っていて、
もうぎゅうぎゅうでした。



あれ、
何かカウゲに当たっているような...

身動きが取りづらい中で確認できたのは、
隣に立っているスーツ姿の大人の手のようだ、
ということです。

Aさんの頭の中は、真っ白です。

その日どうやって家に帰ったのか、
覚えていません。

どういうこと?



気がついたら、自分の部屋にいました。

男がこちらにあうって、おかしい?
誰かに言って、信じてもらえる?

誰にも知られたくない。

涙が出てくる。

イヤって言わなかった
自分も悪い?



その日から、
Aさんは電車に乗るのが怖くなりました。

電車に乗ろうとすると呼吸が苦しくなって、
我慢して乗っても
途中で降りることが多くなりました。



学校を遅刻したり、塾を休んだり、
なんだか上の空なAさんを見て、

家族が
「なにかあったの?」
と心配して聞いてくると、

なんもないって!

とイライラしてしまいます。



成績が急に下がってしまって、

もうどうしたらいいのか
Aさんがわからなくなっていたとき、

家族から学校への相談がきっかけで、
スクールカウンセラーの先生と
お話しすることになりました。



21

んー。
なんか最近イライラするんですよ。笑

最初の相談では話せなかったけれど、
何度目かの相談のときに、
Aさんは少し、
電車での出来事話を話してみました。

そういうことがあったんだね。
話してくれて、ありがとう。



先生が話を信じて聞いてくれたことで、
Aさんは少し気持ちがほっとしました。

焦る気持ちがあるかもしれないけど、
Aさんのペースでいいんだよ。



23

被害後の影響

からだ

- 疲れやすい
- 息苦しい
- 寝れない
- など

こころ

- 思い出したくないのに思い出す
- 不安でイライラする
- 被害が気になる
- など

考え方

- 自分を責める
- 何をやってもらったか
- 誰も信じられない
- など

被害後の影響

どんな反応が、どのくらい出るかは人それぞれ。

反応が出たとしてもそれは自然なこと。

本人だけでなく、家族や周りの人にも影響が広がることもある。

長期にわたって影響が続くこともある。

「二次被害」

例えば-

- 「それって本当？」など信じてもらえない
- 「あなたが悪い」「そんなところへ行ったから」など被害にあった人の責任にされる
- 様々な場面で何度も繰り返し説明させられる
- 周囲の人々のうわさ話、報道によるプライバシー侵害 など



正しい知識を持つ

被害者の意識

若い女性だけが被害にあって
かわいいらしいのではない
おれに被害しないのは、同意だから
レイプは被害からくる
身体的なもの
被害者にも落ち度はある

加害者の意識

幼い子どもから高齢者、男性も被害にあって
被害者の容姿の醜態ではない
被害しない、ではなく、「抵抗できない」
性差より支配性によって、
集団的に起こっている
「悪いのは加害者」

その情報あってる？

TV・インターネット・SNS・漫画など、メディアからの情報は
大きさに表現しているものもある。

- 「これって本当?」「なんか違うよね」
という感覚を大事に
- 正しい情報を選んでいこう



正しい情報を選んでいこう



境界線ってなに?...自分も相手も守る適切なリアクティブ



もし性暴力にあったら あなたが選べること

逃げる
距離をとる



大人に
相談する



病院・警察
など



逃げる
距離をとる



- ✓ 『イヤ』と言う
- ✓ 相手からの連絡には
返事しない

大人に
相談する



誰かに相談することは
自分を守る力になる

大人に
相談する

性暴力被害者 支援センター・ふくおか

- ✓ 医療機関への付き添い
- ✓ 警察への付き添い
- ✓ 弁護士による法的支援
- ✓ カウンセリング
- ✓ 緊急時の宿泊場所の提供



病院

からだのケア	こころのケア
産婦人科	心療内科
泌尿器科	精神科

ケガの手当て・緊急避妊薬・
性感染症の検査など

カウンセリング・
薬の処方など

適切なケアを受けましょう。


警察

- ✓ 加害者を処罰してほしいとき
- ✓ 犯罪として調べてほしいとき



迷っているときに、相談することもできます
#8103 (ハートさん) 性犯罪被害者相談電話

友達から相談を受けたとき



- 話をゆっくり聴く
- 相手のペースを守ること
- 信頼できる大人への相談をすすめる

あなた自身が抱え込まないでください

あなたのからだはあなたのもの、
あなたのこころもあなたのもの。

自分がどうしたいかは
自分で決めていいんです。

